

## 第三者評価結果入力シート（母子生活支援施設）

種別	母子生活支援施設
----	----------

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人エール・フォーユー
--------------------

### ②評価調査者研修修了番号

SK2019004
S16005
S18007

### ③施設名等

名称：	むつみハイム
施設長氏名：	阿部太一
定員：	20（暫定定員17）名
所在地（都道府県）：	山形県
所在地（市町村以下）：	山形市小白川町五丁目18番9号
T E L：	023-632-5075
U R L：	<a href="https://www.mutsumi-heim.com/">https://www.mutsumi-heim.com/</a>
<b>【施設の概要】</b>	
開設年月日	1958/6/18
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人出羽むつみ会
職員数 常勤職員：	9名
職員数 非常勤職員：	3名
有資格職員の名称（ア）	精神保健福祉士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（イ）	保育士
上記有資格職員の人数：	2名
有資格職員の名称（ウ）	医師
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（エ）	臨床心理士
上記有資格職員の人数：	2名
有資格職員の名称（オ）	
上記有資格職員の人数：	名
有資格職員の名称（カ）	
上記有資格職員の人数：	名
施設設備の概要（ア）居室数：	20室 2LDK 1LDK
施設設備の概要（イ）設備等：	消火器、自動火災報知機設備、誘導標識、防犯カメラ
施設設備の概要（ウ）：	
施設設備の概要（エ）：	

### ④理念・基本方針

<p><b>【理念】</b> 母子生活支援施設は、児童福祉法、児童憲章や母子生活支援施設運営指針及び倫理綱領の精神に則り、母親と子どもに最善の利益を保障するとともに共に、母と子の権利擁護を守り、生活の拠点として、子どもを育み、子どもが育つことを保障し、安定した生活の営みを支えます。そのために、むつみハイムは、母と子のそれぞれの人格と個性を尊重して自立への歩みを支えんとともに、公正で公平な施設運営を心がけ、母と子及び地域社会から信頼される施設として支援を行うことをめざします。</p> <p><b>【基本理念】</b> むつみハイムは、母子家庭の生活の安定と子どもの健やかな成長を基本方針とし、きめ細やかな支援を必要とする利用者に対し、安心して暮らせる生活環境を整え、相談・子育て支援・児童の健全育成・就労とアフターケア等を積極的に支援し、ひとり親家庭の自立促進を図ることを目標としています。むつみハイムには、児童虐待等やDV（ドメスティック・バイオレンス）被害を受けた母子や障害のある母子、外国人の母子など、多様で困難な課題のある利用者が増加しており、権利を侵害された人々たちに対するケアの個別化を図り、癒しとその後の自立に向けて、利用者との信頼関係を構築し、利用者が安心して暮らせる、自立出来るよう支援体制を充実していきます。 また、第三者評価事業の評価を基本方針に反映させ、随時、自己評価に取組み支援の向上を図っていきます。職員においては、従来にもまして高い専門性が要請されることから、人事評価を行いながら、研鑽と資質向上に励んでいきます。</p>
--

### ⑤施設の特徴的な取組

<p>配偶者暴力などにより、母はもとより子どもも複雑多岐な課題を抱えている現状に対応するため臨床心理士を配置して心のケア充実に努めています。 また、近隣市からの受託事業としてショートステイ・トワイライト事業を実施しているなかで、入所児童についても活用して支援の充実に努めています。</p>
--

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2019/10/10	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2020/2/14	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成28年度	

⑦総評

◇特に評価の高い点

1. 母親と子どもの自立へ向けた生活支援について

利用者一人ひとりの課題解決に向けて、自立した生活ができるように家事能力の向上・養育・就業・借金・DV被害等の家族関係などの問題に職員はそれぞれの専門的な立場から自立支援計画を作成し、改善が図られるよう相談・援助を行っています。一時保護における生活用品の貸与を行い、母親の体調不良時や資格取得のための学習時は保育室で子どもを預かり、小・中学生には学習支援を行うなど頼れる大人として関わりを持ち信頼関係を築いています。職員は子どもの成長が母親の成長に繋がることを確信し、共に育ちあえる良好な家庭環境の維持と安定した生活を送れるよう支援しています。

2. 地域との交流について

平成14年にむつみハイムとして現在地に移転してから今日まで県内唯一の施設として地域から受け入れてもらっています。子どもたちは地域子ども会へ参加し一緒に活動し遊び、また行事への協力や物資の援助、学習指導や文化活動等のボランティアなど多くの支援を得て交流が生まれています。夏祭りや餅つき大会は一大イベントとして地域住民が大勢参加して賑わいを見せ、入所世帯と社会の繋がりができ笑顔が見られる場面となっています。また、隣接地に同法人の小規模保育所を開所し、地域の乳幼児やむつみハイムからも入所し定員を満たしています。保育所の2階を集会所として開放し、子ども食堂を開催するなど地域貢献活動も実施し、地域のなかで確かな存在感を示しています。

3. 施設長のリーダーシップと職員との信頼関係について

職員は様々な状況下にある母子支援の在り方や悩み等について、施設長にいつでも気軽に相談できる体制で職員からの信頼も厚く、助言を得ながら職務に励んでいます。働きやすい職場環境に配慮し、休暇等も協力し合い取得でき安心して働ける体制を構築し、職員の心の安定が母子支援に冷静に向き合えることができています。

◇改善を求められる点

1. 母親と子どもの権利擁護について

母親と子どもの権利擁護については規程もあり職員は理解していますが、定期的な検討会等は行われていないので、再度確認する場を設けるなど今後の対応に期待します。

2. 性教育について

現在利用している世帯は乳幼児と小学生低学年の子どもたちが多く、性に関する問題等は起きていませんが、タブー視せずに発達段階に応じた正しい知識を持って対応できるように、研修を重ね学校との協力も検討しながら取り組まれるよう期待します。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

これまでの受審が、職員、そして施設としての自立支援の向上につながってきたと感じており、母子生活支援施設が目指すビジョンの実現に向けて、中長期課題を整理し、それらに基づいて一層の支援の充実に取り組んでまいりました。

三度目となるこの度の受審におきましても、私たちが取り組んでいかなければならない課題を明確にさせていただいたと思っておりますが、特に、権利擁護に関することについて、一層の研鑽を積む必要があることを学び、支援の質の向上を目指したいと思っております。

そして、母子生活支援施設を取り巻く環境は、このところ大きく変化していることから、利用者への安心・安全な環境の提供と寄り添った支援を旨とし、より社会ニーズに合った施設になるよう努めていきたいと考えます。

## 自己評価結果表【タイプA】（母子生活支援施設）

### 共通評価基準（45項目） I 支援の基本方針と組織

#### 1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
<p>① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、母親と子どもへの周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。</p>	a
<p>【コメント】</p> <p>施設の理念・基本方針は児童福祉法・児童憲章・倫理綱領の精神に則り、多様な課題を抱えている母子家庭の生活の安定と自立に向けた支援を掲げている。基本情報やパンフレット、ホームページ、事業計画に明記しており、職員には会議等で周知を図り、名札ケースに倫理綱領を記載したカードを携行し、常に仕事に対する拠り所としている。母親と子どもには別途作成した資料で見学時や入所時に丁寧な説明で理解を得ている。</p>	

#### 2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に対応している。	第三者 評価結果
<p>① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 母親と子どもの数・母親と子ども像等、支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする母親と子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に支援のコスト分析や施設入所を必要とする母親と子どもの推移、利用率等の分析を行っている。</p>	b
<p>【コメント】</p> <p>施設長は行政に携わった経験から、地域の中でむつみハイムの果たすべき役割や母親と子どもの置かれている状況、方向性を分析し、「機能強化整備計画」のなかに経営上の課題として運営面・施設のハード面・入居率と職員暫定員の維持などについて掲げ把握に努めている。</p>	
<p>② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営環境や支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。</p>	b
<p>【コメント】</p>	

平成27年度に取り組むべき課題として「機能強化整備計画」を策定し、具体的に達成された事案もある。駐車場の整備、さらに3～5歳児保育園を整備し認可を受けること、老朽化した設備の修繕など職員と共に見直しや検討を重ねており、改善に向けた取り組みを進めている。

### 3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	
【コメント】		
中・長期計画として「機能強化整備計画」を策定し、理事会の承認を得ながら収支計画に基づき、変化する社会情勢を踏まえ、また新たな計画の実現に向けて進めている。		
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
【コメント】		
中・長期計画に沿った単年度事業計画が策定されているが、新たな課題も出てきており、理事会の承認を得て補正予算を組み随時計画を進めている。		
(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	
【コメント】		
年度末に計画の評価や見直しを行い、施設居室の修繕や保育園の体制が3～5歳児も受け入れる計画があり改修工事が必要となり、集会室と子ども食堂が移転することになっている。計画策定については職員に周知を図っている。		
②	7 事業計画は、母親と子どもに周知され、理解を促している。	b

<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、母親と子どもに周知（配布、掲示、説明等）されている。	
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や母親会等で説明している。	
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、母親と子どもがより理解しやすいような工夫を行っている。	
<input type="checkbox"/> 事業計画については、母親と子どもの参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	
<b>【コメント】</b> 事業計画については母親と子どもには自治会の常会時に必要な部分を口頭で説明し、行事計画についての連絡は鍵つきのそれぞれの郵便ポストに入れ、急ぐ場合は手渡しで行っている。子どもにはコミュニケーションをとりながら周知を図っている。	

#### 4 支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
<p>① 8 支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。</p> <p><input type="checkbox"/>組織的にPDCAサイクルにもとづく支援の質の向上に関する取組を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>支援の内容について組織的に評価(C: Check)を行う体制が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/>定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。</p> <p><input type="checkbox"/>評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。</p>	b
<b>【コメント】</b> 職員全員で自己評価を行い、定期的に第三者評価を受審し、結果についての話し合いが行われている。職員会議のほか、課題を抱えている世帯について緊急会議を開催し担当職員と専門職員で検討し支援している。毎日の申し送り事項はパソコンで入力して各自パスワードで内容を確認し、課題については迅速な対応を心掛けている。	
<p>② 9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。</p> <p><input type="checkbox"/>職員間で課題の共有化が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/>評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。</p> <p><input type="checkbox"/>評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。</p>	b
<b>【コメント】</b> 前回の評価結果の改善が図られているが全職員参画による改善計画策定には至っていない。様々な事情を抱えている母親と子ども世帯なので一律にはいかない面があり、それぞれの支援計画のなかに組み入れて実施している。事業計画について達成された事項や休止した事項など記載変更が望まれる	

## II 施設の運営管理

### 1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果
<p>① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。</p>	b

<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	
<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	

【コメント】

施設長の役割と責任は業務分掌に文書化しており、職員に対しては研修や職員会議の場などで表明し、不在時の権限委任を明確にしている。自治会に加入し、施設長が隣組長を務め地域とのパイプ役を担っている。現在、法人の広報紙「ほほえみ」と「むつみハイムだより」が発行休止しており、部外者に対する誌面による広報は利用者の事情等を考慮して行われず、出向いたときに口頭で説明し理解を得ている。

<p>② 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。</p> <input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	a
<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	

【コメント】

施設長は遵守すべき法令については行政の経験から精通しており、諸規程の改正についても理解して取り組んでいる。遵守すべき事項は就業規程に記載して職員がいつでも見られるようにしており、違反した場合の罰則についても明記し周知を図り、コンプライアンスを重視した姿勢で取り組んでいる。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

<p>① 12 支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。</p> <input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	
<small>(5種別共通)</small> <input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	

【コメント】

施設長は自らの研修のほか、職員にも積極的に内・外部研修に参加してもらい質の向上を図っている。職員が少なく異動もほとんどないので馴れ合いにならないように、また言葉遣いや支援技術に差が出ないように配慮し、職員と母子の間に立って良好な関係を築き、自立支援に繋がる体制に指導力を発揮しており職員からの厚い信頼を得ている。

<p>② 13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。</p> <input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	

【コメント】

変化する社会情勢を見極め経営の改善を図り、職員にとって働きやすい職場環境を目指している。近年、専門職職員の採用が厳しく余裕のある勤務体制の維持が難しい状況だが協力しあい有給休暇は取得できている。世帯の入所期間が平均2年弱で入れ替わりが多く職員の配置にも影響があるが措置費や暫定人員の維持に努めている。

## 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	<p>14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。</p> <p><input type="checkbox"/> 支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。</p> <p>(5種別共通)</p> <p><input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。</p>	b
【コメント】		
職員は施設長を中心に母子支援員・少年指導員・保育士のほかに、非常勤の臨床心理士や嘱託医師を配置しており、必要とする人材確保や研修を行い職員の定着に繋げている。		
②	<p>15 総合的な人事管理が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。</p> <p><input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。</p>	b
【コメント】		
人事考課規程に基づいて理事長や施設長が年2回面談を行い、職員の目標や意向・意見等を聞き職務遂行能力などを考慮しながら評価と管理を行っている。		
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	<p>16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。</p> <p><input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。</p>	b
【コメント】		

職員の家庭の都合による休暇には職員同士の協力もあり、安心して有給休暇の取得ができるように配慮している。福利厚生に向けて、勤労者福祉サービス（ナイス・サポート）に加入し、インフルエンザ予防接種や様々なイベントなどの参加に補助を受けられるようにしている。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標（目標項目、目標水準、目標期限）が明確かつ適切に設定されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末（期末）面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	

【コメント】

法人・施設の理念や基本方針をもとに目標管理ができており、また職員一人ひとりに倫理綱領の記載カードを配布し常に確認できるようにしている。施設長は職員との面談を通して、意見等の聞き取りや悩み相談にも応じるなど職員の育成・指導に取り組んでいる。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 現在実施している支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【コメント】

年間研修計画に基づいて、職員の職種や経歴等を考慮し多くの県内外研修へ派遣している。派遣された職員は、報告書と共に伝達や回覧を通じて周知し支援に活かしている。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	

【コメント】

施設は様々な悩みなどを持つ母親の自立に向け、きめ細やかな支援ができるようにスーパービジョン体制を作り、職員に対して年間6回にわたり、母子支援員・少年指導員・保育士の各担当者がケース検討や支援の在り方など外部講師から受講し全体の質の向上を図っている。

(4) 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 <input type="checkbox"/> 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。 <input type="checkbox"/> 実習生等の支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。 <input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。 <input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。 <input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	b
【コメント】		
実習生の受入れについては毎年研修・育成に協力しており、依頼学校とも調整を図り特性に合わせて各担当者が指導に当たっている。学生にはトラブル防止のために、施設の特性内容・時間規制・守秘義務等を説明し理解をしてもらい随時プログラムを作成し実習に取り組んでもらっている。		

### 3 運営の透明性の確保

(1)	運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。 <input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。 <input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。 <input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。 <input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。 <input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	b
【コメント】		
ホームページにより、理念や基本方針、事業計画、予算・決算等や第三者評価受審結果まで公表して運営の透明性を図っている。施設の夏祭りや餅つき大会の行事等には、地域の町内会へ開催案内チラシを回覧し、大勢の参加があり交流を深めている。		
②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 <input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。 <input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。 <input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。 <input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	b
【コメント】		
内部監査は法人監事が行い、外部監査を会計事務所に依頼し実施しており透明性を確保している。監査結果の指摘事項などは、職員にも周知を図って改善に繋げている。		

### 4 地域との交流、地域貢献

(1)	地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果
①	23 母親、子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b

<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	
<input type="checkbox"/> 施設や母親と子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の母親と子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	
(母子生活支援施設)	
<input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	

【コメント】

少年指導員が地域の子ども会に役員として入り、相談や意見・情報交換を行い行事などの調整を図っている。夏祭りや餅つき大会には、施設の母子・学生や地域のボランティアの方を含めて多くの参加者を得て盛大な交流の場となっている。

②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して母親と子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	

【コメント】

ボランティアの受入れについては、特に学習指導の必要性から事業計画の中に組み入れている。学校とは課題について教育の対応に差が生じないように定期的に情報交換を行っている。ボランティアには学生その他NPO法人など3団体の協力で、子どもたちは学習指導や遊び、体験学習に参加し成長に繋げている。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の母親と子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、母親と子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	

【コメント】

福祉事務所とは定期的に会議や状況報告等を行い連携を密にしている。保育所、小・中学校の行事やPTA活動に参加できる母親もおり、個別の課題については放課後デイや市の子育てガイドなどの社会資源を活用できるように知らせている。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	

【コメント】

町内会の会合には施設長や職員が参加し、総会時には施設の説明をして理解とアドバイスをもらっている。夏祭りや餅つき大会の行事に地域から多くの参加者で賑わい、また放課後に子どもの友達が施設にきて、学習室や集会室で一緒に勉強した後にゲーム等の遊びで楽しんでいる。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	

【コメント】

施設建物は耐震構造になっており、町内会の防災部と連携して地域の一時避難場所として提供することになっている。山形てのひら支援ネットとの共催で施設の集会室において、誰でも参加できる地域コミュニティの場としてお茶やコーヒーを飲みながらくつろいでもらう「たまりば★カフェ」を午後から1ヶ月間の限定で開放している。

### Ⅲ 適切な支援の実施

#### 1 母親と子ども本位の支援

(1) 母親と子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 母親と子どもを尊重した支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、母親と子どもを尊重した支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	

【コメント】

理念、基本姿勢、支援目標等を会議や研修等で周知し理解を図っており、また倫理綱領記載カードを職員全員が携帯し都度確認をしながら、母親と子どもを尊重し人権に配慮した対応と支援を行っている。

②	29 母親と子どものプライバシー保護に配慮した支援が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 母親と子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの母親と子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、母親と子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもにプライバシー保護に関する取組を周知している。	

【コメント】

入所時に福祉事務所からの情報を面談を通して確認するとともに、新たな気づきや情報を得て的確な支援目標になるよう計画を作成して、職員が共通した認識のもと個人情報保護規程によりプライバシー保護に努めている。

(2) 支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
①	30 母親と子どもに対して支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針、支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。 <input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。 <input type="checkbox"/> 施設に入所予定の母親と子どもについては、個別に丁寧な説明を実施している。 <input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもに対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	b
【コメント】 施設見学は適宜行い、施設の概要と支援内容や施設の決まり等が記載された「生活のしおり」を用いて丁寧な説明を行って理解を得ている。ホームページにはプライバシーに配慮したうえで生活の様子や、主な年間行事を写真等で分かりやすく載せ参考にしてもらいながら自己決定に繋いでいる。		
②	31 支援の開始・過程において母親と子どもにわかりやすく説明している。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもが自らの課題を可能な限り認識し、施設が行う支援について母親と子どもができるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。 <input type="checkbox"/> 支援の開始・過程における支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。 <input type="checkbox"/> 支援の開始・過程においては、母親と子どもの同意を得たうえでその内容を書面で残している。 <input type="checkbox"/> 意思決定が困難な母親と子どもへの配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	b
【コメント】 母子支援員は入所にあたり、施設での生活をするための支援内容や決まりごとなどが記載されている「生活のしおり」を用いて、母親や子どもに説明している。学童には少年指導員も加わり不安がないように要望等を聞きながら施設や学校でのきまりなども含めて説明を行っている。		
③	32 支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり支援の継続性に配慮した対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。 <input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。 <input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として母親と子どもが相談できるように担当者や窓口を設置している。 <input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、母親と子どもに対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	b
【コメント】 退所後においても、施設行事へ招待し状況確認を含めて参加を呼びかけている。他県や遠方の方には案内の他に電話連絡をして近況を確認したり、所在不明になっている方については関係機関に問い合わせをするなど連携しながら支援の継続に繋げている。		
(3) 母親と子どもの満足の向上に努めている。		第三者 評価結果
①	33 母親と子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもへの個別の相談面接や聴取等が、母親と子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。 <input type="checkbox"/> 職員等が、母親と子どもの満足を把握する目的で、母親と子ども会等に出席している。	b

<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、母親と子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	
<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	

【コメント】

施設内の子ども会は月1回職員参加のもと開催し、行事等について話し合いが行われている。大きな行事には職員が全員参加し様子を見て言葉かけを行い、都度意見や要望等を聞いて満足の向上に繋げている。

(4) 母親と子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
	<input type="checkbox"/> 支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を母親と子どもに配布し説明している。	
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、母親と子どもが苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、母親と子どもに必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た母親と子どものプライバシーに配慮したうえで、公開している。	
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	

【コメント】

母親と子どもが気軽に意見や要望等を言えるように玄関に意見箱を置いている。母親には苦情窓口担当者・外部第三者委員がいることや苦情相談が出来ることを説明しているが、子どもにも相談出来る窓口があることを知らせる工夫に期待したい。

②	35 母親と子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、母親と子どもに周知している。	b
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもに、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	

【コメント】

職員は世帯ごとに担当制をとり、細やかな指導を行い信頼関係に繋げている。子どもには専門の少年指導員が携わり、意見や気持ちを理解しながら指導にあたり会話を大切にした関係を築いている。

③	36 母親と子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の支援の実施において、母親と子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、母親と子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	

【コメント】

母親や子どもからは多種多様な意見や相談があり、都度担当職員が対応しているが、内容によっては専門性を持った職員や施設長も参加し協議して、早期対応で良い方向付けや解決に導いている。

(5) 安心・安全な支援の実施のための組織的な取組が行われている。		第三者 評価結果
①	<p>37 安心・安全な支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p> <p><input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。</p> <p><input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 母親と子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。</p>	b

【コメント】

施設では災害想定を変えながら毎月防災訓練を行っており、入所している母親や子ども及び職員を守るため避難等の行動ができるように訓練を実施している。災害時対応マニュアルや緊急時の連絡体制も整え、DV被害対応に備え警察との連絡網も整備してあり安心・安全に繋げている。

②	<p>38 感染症の予防や発生時における母親と子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。</p> <p><input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。</p> <p><input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。</p> <p><input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。</p>	b
---	---	---

【コメント】

感染症予防のために母親や子どもには、インフルエンザの予防接種は施設予算で実施している。県・市や嘱託医から感染症についての情報を、ポスター掲示や各世帯回覧を通して啓発を行い予防に努めている。

③	<p>39 災害時における母親と子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。</p> <p><input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 母親と子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。</p>	b
---	---	---

【コメント】

毎月の防災訓練は想定を変えて様々な災害時の対応ができるように実施している。母親が外出する際には居室の鍵を預けてもらい、職員から声掛けをし、夜間の巡回時には体調確認も行い安心に繋げている。

## 2 支援の質の確保

(1) 支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	40 支援について標準的な実施方法が文書化され支援が実施されている。 <input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。 <input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、母親と子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。 <input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。 <input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	b
【コメント】 施設独自の「運営方針」をもとに標準的な実施方法を作成し、職員一人ひとりが運営マニュアル・生活の決まりをそれぞれに沿って対応している。母親と子どもには入所時にプライバシーの保護について文書等で説明を行い理解を得ている。		
②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。 <input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。 <input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。 <input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。 <input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や母親と子どもからの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	b
【コメント】 施設長は母親と子どもと個人面談を年2回行い検証し、支援内容の疑問や要望等を取り上げて話し合いを行い、母親の希望等を聞いて見直しが必要か否かについて職員で検討している。母親と子どもにはそれぞれ自立支援計画の内容について了承を得る仕組みとなっている。		
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。 <input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。 <input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。 <input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。 <input type="checkbox"/> 自立支援計画には、母親と子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な支援の内容等が明示されている。 <input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、母親と子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。 <input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な支援が行われている。	b
【コメント】 自立支援計画策定は、措置機関からのアセスメントをもとに母子支援員がリーダーとなり素案を作成し、関係職員とも検討を重ね策定している。母親と子どもと一緒に成長できるような計画で支援をしている。		
②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。 <input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。 <input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、母親と子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	b

	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	

【コメント】

各世帯担当者、少年指導員、母子支援員、保育士等が出席してケース会議を年2回実施している。その際に母親と子どもの個別面談も実施し、状況確認をしながら評価・見直しを行っている。

(3) 支援の実施の記録が適切に行われている。

①	<p>44 母親と子どもに関する支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。</p> <p><input type="checkbox"/>母親と子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。</p> <p><input type="checkbox"/>自立支援計画にもとづく支援が実施されていることを記録により確認することができる。</p> <p><input type="checkbox"/>記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/>情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/>パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。</p>	b
---	--	---

【コメント】

支援の実施状況の記録等に関しては、職員それぞれの記載要領が統一されるようにパソコンによる支援システムで入力し職員がいつでも記録を確認している。パスワードを設定しており、メモリーでの持ち込みや持ち出しは禁止して外部に洩れないよう対策をしている。

②	<p>45 母親と子どもに関する記録の管理体制が確立している。</p> <p><input type="checkbox"/>個人情報保護規程等により、母親と子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/>個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。</p> <p><input type="checkbox"/>記録管理の責任者が設置されている。</p> <p><input type="checkbox"/>記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/>職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。</p> <p><input type="checkbox"/>個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。</p>	b
---	--	---

【コメント】

記録の管理は職員ごとパスワードを設定しパソコンで入力している。個人情報については就業規程及び個人情報保護規程等に明記し遵守している。

内容評価基準（27項目）

A-1 母親と子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 母親と子どもの権利擁護		第三者 評価結果
①	A1 母親と子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。 <input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 <input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	c
【コメント】 母親と子どもの権利擁護と虐待による権利侵害があってはならないことを職員は理解し日々の支援に取り組んでいる。疑われるような事案や事例検討なども含め、定期的な検討会や独自のアンケート調査等の実施にも期待したい。		
(2) 権利侵害への対応		
①	A2 いかなる場合においても、職員等による暴力や脅かし、人格的辱め、心理的虐待、セクシャルハラスメントなどの不適切なかかわりが起こらないよう権利侵害を防止している。 <input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合を想定し、施設長が職員と利用者の双方に事実確認や原因の分析等を行うことや「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがとられている。 <input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの起こりやすい状況や場面について、具体的な例を示しながら、研修や話し合いを行い、職員による不適切なかかわりを行わないための支援技術を習得させている。 <input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの禁止を職員等に徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことを確認している。 <input type="checkbox"/> 職員からの暴力や言葉による脅かしなどの、不適切なかかわりが発生した場合に対応するためのマニュアル等を整備し、規程に基づいて厳正に対応している。 <input type="checkbox"/> 不適切なかかわりや暴力を見たり聞いたりしたら、管理者等に報告することを義務付けている。	a
【コメント】 職員による権利侵害が起こらないよう、また起きた場合の処分を行う仕組みを就業規程に明記している。侵害に至った例はないが職員の意思統一を図り施設長が常に指導を行い、支援技術の向上に取り組んでいる。		
②	A3 いかなる場合においても、母親や子どもが、暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切な行為を行わないよう徹底している。 <input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止について、具体的な例を示して、母親と子どもに周知している。 <input type="checkbox"/> 不適切な行為に迅速に対応できるように、母親と子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。 <input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止を徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことの確認や職員体制の点検と改善を行っている。 <input type="checkbox"/> 不適切な行為を伴わない人とのかかわりについて、母親や子どもに伝え、良好な人間関係の構築を図っている。	b
【コメント】 子ども同士のトラブルが母親同士にまで発展し関係悪化につながる事があり、感情的な行動を取らないように少年指導員は常に気遣い、訴えやサインを見逃さないよう支援している。施設長は場合によっては父親的な役割を持って関係調整を図っている。		
③	A4 子どもに対する暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 不適切なかかわりに迅速に対応できるように、子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。 <input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識・具体的方法について学習する機会を設けている。 <input type="checkbox"/> 不適切なかかわりを伴わない子育てについて母親に伝え、良好な親子関係の構築を図っている。 <input type="checkbox"/> 常に親子関係の把握に努め、適切な助言や支援を行っている。	b

**【コメント】**  
 入所している世帯はDV被害・障害を持っている・心理的虐待を受けてきたなど様々なケースを抱えており、母親に余裕がなくストレスが子どもへ向くことがあり、居室の中で行われていた場合発見が遅れることがないようにしている。施設長はじめ、母子支援員・少年指導員・保育士は気づきを大切にして問題行動に対処し、安心して暮らせるよう取り組んでいる。

<b>(3) 思想や信教の自由の保障</b>	
① A5 母親と子どもの思想や信教の自由を保障している。	a
<input type="checkbox"/> 施設において宗教的活動等を強要していない。	
<input type="checkbox"/> 個人的な宗教活動等は尊重している。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの思想や信教の自由については、最大限に配慮し保障している。	
<input type="checkbox"/> 母親の思想や信教によって、その子どもの権利が損なわれないよう配慮している。	

**【コメント】**  
 むつみハイムでは国籍や出生の違いなどに配慮し信教の自由は保障されている。他者への布教活動や母親の信仰を子へ強要することも見られずトラブルなども起きていない。

<b>(4) 母親と子どもの意向や主体性の配慮</b>	
① A6 母親や子どもが、自分たちの生活全般について自主的に考える活動（施設内の自治活動等）を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	b
<input type="checkbox"/> 子ども自身が自分たちの生活全般について、自主的・主体的な取組ができるような活動（施設内の自治会活動等）を母親の理解のもとで実施している。	
<input type="checkbox"/> 子どもが問題や課題について主体的に検討し、その上で取組、実行、評価するといった内容を含んだ活動を母親の理解と協力のもと実施している。	
<input type="checkbox"/> 活動を通して、子どもの自己表現力、自律性、責任感などが育つよう必要な支援をしている。	
<input type="checkbox"/> 母親が自らの権利を学び、自主的に自分の生活を改善していく方を養えるよう支援している。	
<input type="checkbox"/> 母親の自治会活動等を通して、母親の自己表現力、自律性、責任感などに対する支援を行っている。	

**【コメント】**  
 入所時に「生活のしおり」を配布し、施設での生活のきまりやごみの出し方、医療機関の紹介、非常時のマニュアルなどを理解してもらい生活改善に繋いでいる。母親は自治会活動で常会の司会進行を務め、各階の階長は持ち回りで担当しているができない母親もあり、話し合いで交替するなど協力し合っている。子どもは地区子ども会に加入し、行事への参加を楽しみにルールを守り遊びや学習に取り組んでいる。

<b>(5) 主体性を尊重した日常生活</b>	
① A7 日常生活への支援は、母親や子どもの主体性を尊重して行っている。	a
<input type="checkbox"/> 母親や子どもの自尊心や強みを大切に支援を行い、自己肯定感が回復し高まるような支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもに対してストレングスの視点に基づいて、エンパワメントしていく支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 常に母親と子どもの主体性を尊重した支援を通して、その人が力を発揮できるよう支援を行っている。	

**【コメント】**  
 職員は母親と子どもそれぞれの能力に応じて、家事のやり方・家計管理・子育て・学校生活などの不安と一緒に取り組み、できる事を見つけてあげて、信頼関係を構築し寄り添った支援を行っている。

<b>(5) 主体性を尊重した日常生活</b>	
② A8 行事などのプログラムは、母親や子どもが参画しやすいように工夫し、計画・実施している。	b
<input type="checkbox"/> 母親や子どもが施設での生活を楽しめるような企画を用意している。	
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの主体的な参画を前提とした行事・プログラムを用意している。	
<input type="checkbox"/> 母親向けのプログラムでは、母親が安心して参加し楽しめるように、保育などのサポートを行っている。	
<input type="checkbox"/> 母親や子どもの状況を考慮し、参加しやすいように内容・時間等を工夫している。	

<input type="checkbox"/> 行事等の実施後に、評価を行い次回の実施につなげている。		
<b>【コメント】</b> 行事については常会で説明を行い、夏祭りや餅つき大会には多くの地域住民の参加があり盛大に行われ交流が図られている。母親たちは役割分担を決めて参加・協力している。子どもたちはスケートやスキー教室、母親向けにはフラワーアレンジメントやおせち作りなど参画しやすい行事計画になっており楽しみにしている様子がうかがえる。		
<b>(6) 支援の継続性とアフターケア</b>		
①	<b>A9 母親と子どもが安定した生活を送ることができるよう、退所後の支援を行っている。</b> <input type="checkbox"/> 退所後の支援が効果的に行われるよう、退所後の支援計画を作成している。 <input type="checkbox"/> 退所した地域で安定して暮らすために、必要に応じて退所先の行政機関をはじめ、多様な地域の関係機関や団体とネットワークを形成し、母親と子どもが適切な支援が受けられるようにしている。 <input type="checkbox"/> 退所後も電話や来所によって施設に相談できることを母親と子どもに説明し、生活や子育て等の相談や施設機能を活用した(学童保育・学習支援・施設行事への招待等)支援を提供している。 <input type="checkbox"/> 退所後の生活が安定していることを確認するための往訪や架電等の取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 必要に応じて退所先に往訪し、介助や同行・代行等の支援を行っている。	b
<b>【コメント】</b> 退所後も関係の継続を図り、施設行事への案内や、保育園の継続利用、フードバンクの利用や社会資源の紹介などを行い出来る限り情報収集し支援している。世帯によっては施設長が身元引受人となることもあり、また成長した子が近況を知らせに来てくれるなど職員の喜びになっている。退所後の支援計画作成は人員配置などから現状は行われていない。		

## A-2 支援の質の確保

<b>(1) 支援の基本</b>		第三者 評価結果
①	<b>A10 母親と子どもそれぞれの個別の課題に対応して、専門的支援を行っている。</b> <input type="checkbox"/> 母親と子どもがそれぞれ抱える個別の課題に対して、目的や目標を明確にし計画的で一貫した専門的支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもの課題を正しく理解し、親子・家庭のあり方を重視した支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもが、自己の意思で課題を解決できるように個々の気持ちに寄り添った支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 資料等を使いながら、必要な手続きをわかりやすく説明し、必要に応じて職員が機関等への同行及び代弁を行っている。 <input type="checkbox"/> 専門的な支援を行うために、その支援に必要な資格や経験等を考慮した職員を配置し、職員間で連携・協議を行っている。	b
<b>【コメント】</b> 関係機関から各世帯の情報提供を受け入所に至る経緯を把握し、入所後さらに確認し母親と子どもそれぞれの課題を明らかにし、一人ひとりのニーズに応じて母子支援員・少年指導員・保育士・臨床心理士等の職員が検討し、自立支援計画の作成と自立に向けた目標に沿った専門的支援を行っている。母親の計画の中に子どもの目標も一体化して含まれており、子ども独自の計画作成は行っていない。		
<b>(2) 入所初期の支援</b>		
①	<b>A11 入所に当たり、母親と子どもそれぞれのアセスメントに基づき、生活課題・ニーズを把握し、生活や精神的な安定に向けた支援を行っている。</b> <input type="checkbox"/> 入所直後は心理的に不安になりやすいため、信頼関係の構築に心がけ、心の安定に向けた相談支援に努めている。 <input type="checkbox"/> 母親と子どもが安心して施設を利用し、課題の解決に向かえるように、関係機関等と連携して情報提供に努めている。 <input type="checkbox"/> 子どもが保育所・学校に速やかに入所・通学できるよう支援している。 <input type="checkbox"/> 必要に応じて、生活用具・家財道具等の貸し出しを行っている。 <input type="checkbox"/> 居室は、母親と子どもが生活するために必要な十分なスペースが確保され、プライバシーに配慮したものとなっている。	a

<input type="checkbox"/> 身体に障害のある母親や子どもに対しても、安全に生活ができるように配慮している。	
【コメント】	
入所当初はDV被害や家庭環境の悪化などから不安を抱えているため、日用品の貸出しや居場所が特定されないように配慮し安心できる環境を整えている。職員は学校や保育園へ速やかに通学・入所できるよう相談・援助の体制を整えている。	
(3) 母親への日常生活支援	
<p>① A12 母親が、安定した家庭生活を営むために必要な支援を行っている。</p> <input type="checkbox"/> 生活経験に乏しい母親には、職員と共に行うことで経験を補う等の支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 心やからだの健康に不安を持つ母親には、相談に応じたり、医療機関への受診を促したりするとともに、栄養管理等の食生活への支援を行うなど、ニーズに応じた健康管理のための支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 必要に応じて、衣服の清潔保持や入浴など、気持ちよく暮らすために必要な衛生面への支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 経済的に安定した生活を送るために、必要に応じて家計の管理、将来に向けた貯蓄等の相談や支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 支援の必要性やニーズに応じて、家事・育児等、日常生活全般について、代行や介助等の支援を行っている。	b
【コメント】	
寄付による洋服等を母子に分け与え生活費の軽減に役立てている。洗濯物などの片づけの苦手な母親には、子どもに片づけ方を教え職員と一緒に片付ける様子を見せることで母親の意識づけになりできるようにしている。始めは配食業者の利用で献立を理解してもらい、職員と一緒に料理をして自信に繋げるなど工夫をしながら各世帯に合せた支援をしている。	
<p>② A13 母親の子育てのニーズに対応するとともに、子どもとの適切なかわりができるよう支援している。</p> <input type="checkbox"/> 母親の育児に関する不安や悩み等の発見に努め、その軽減に向けた相談や助言、介助等を行うとともに、必要に応じて保育の提供や保育所へつなぐ等の支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 母親の状況に応じ、子どもの保育所・学校等への送迎の支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 母親が子どもを客観的に理解できるように、発達段階や発達課題について示し、適切な子育てやかかわりについてわかりやすく説明している。 <input type="checkbox"/> 虐待や不適切なかかわりを発見した時は職員が介入し、必要に応じて専門機関との連携を行っている。 <input type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもが通う保育所や学校と連携している。	a
【コメント】	
就労まで至っていない母親には、こもりがちにならないように声掛けを行い、保育室の利用や「子育てサロン」の利用を勧め、悩みや相談、お茶会などを行い外に出る機会を作っている。また動物園へ連れて行って動物とのふれあいなどを通して気分転換を図り、明るい表情が見られ会話も増え喜ばれている。	
<p>③ A14 母親が安定した対人関係を築くための支援を行っている。</p> <input type="checkbox"/> 母親が職員とつながっていることを実感できるよう、様々な場面で気軽に声をかけたり、相談に応じるなどの取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 施設を自分の居場所として感じられるように、母親どうしが集うための機会や場を設け、交流を促すなどなど、関係づくりのための支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 対人関係がうまくできない母親には、母親のペースに合わせた関係性の構築に配慮を行っている。 <input type="checkbox"/> 社会との関係をとることの難しさから対人関係にストレスを生じている場合は、そのストレスの軽減が図られるよう、心理療法を行ったり相談に応じたりしている。 <input type="checkbox"/> 施設内の他の母親や子どもとの間でトラブルが生じたときに、その関係性を修復もしくは改善するための支援を行っている。	b
【コメント】	

就労している母親には仕事の様子などを聞き出し、心の安定に繋げるアドバイスをしている。対人関係に自信のない母親には、丁寧に話を聞いて地域社会に馴染み良い人間関係づくりができるように支援している。

(4) 子どもへの支援

①	A15 健やかな子どもの育ちを保障するために、養育・保育に関する支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもの成長段階、発達段階に応じた養育支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 放課後の子どもの生活の安定や活動を保障し、活動場所、プログラム等を用意するとともに、日常生活上必要な知識や技術の伝達、遊びや行事等を行っている。	
	<input type="checkbox"/> DVを目撃した子どもを含め、被虐待児等や発達障害を含む様々な障害等の特別な配慮が必要な子どもに対しては、必要に応じて個別に対応し、子どもの状況に応じた支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 母親のニーズや状況に応じて、施設内の保育支援や保育所への送迎、通院の付き添いなどの支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設内における養育・保育に関する記録を整備し、支援に役立てている。	

【コメント】

様々な境遇の母親と子どもに合わせた声かけで、子育てサロンの参加を促し他の母親と子どもとの会話を通しながら孤立しないように配慮している。通院する場合は病院への送迎をして、不安のないように心の安定を図っている。

②	A16 子どもが自立に必要な力を身につけるために、学習や進路、悩み等への相談支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 落ち着いて学習に取り組める環境を整え、年齢に応じた適切な学習支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 学習の習慣を身につけるとともに、学習への動機づけを図っている。	
	<input type="checkbox"/> 進学や就職への支援について、母親と子ども双方の意向をくみ取り、学校と連携して情報提供を行いながら、具体的な目標を定めている。	
	<input type="checkbox"/> 学費の負担軽減のため、各種の奨学金や授業料の減免制度等の活用への支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 学習指導のために学習ボランティア等の協力を得ている。	
	<input type="checkbox"/> 子ども一人一人の個別性を重視した相談・支援を行っている。	

【コメント】

学校から帰ってきた小・中学生は学習室や集会室を利用し、必ず宿題をすることを習慣づけにしている。進学や就職については母親と子どもの意向を汲み取り、施設は学校と課題毎に定期的に情報交換を行い進路指導を行っている。

③	A17 子どもに安らぎと心地よさを与えられるおとなのかかわりや、子どもどうしのつきあいに配慮して、人との関係づくりについて支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 母親以外のおとなにも受け入れられたり、甘えられたりする経験を増やし、おとなとの信頼関係が構築できるよう支援している。	
	<input type="checkbox"/> ボランティアや実習生など、様々なおとなとの出会いの機会を設け、多様な価値観、生き方への理解をすすめている。	
	<input type="checkbox"/> 悪意や暴力のないおとなモデルを提供することで、おとなに信頼感を持てるよう支援している。	
	<input type="checkbox"/> 自分の気持ちをことばで適切に表現し相手に伝えることについて、日常生活の中でその方法を意識的に伝え、その能力が向上するよう支援している。	
	<input type="checkbox"/> 専門的なプログラムに基づいたグループワークを積極的に取り入れている。	

【コメント】

子どもとの関わりは、帰宅した午後3時半頃から職員、また4時半頃からボランティアの方、他に実習生から学習指導を受ける中で学力向上と、大人との関わり方を身につけてもらえるようにしている。大きな声を出す子には落ち着かせ、話し方や反省することの大事さも教えて子どもの成長に繋げている。

④	A18 子どもの年齢・発達段階に応じて、性についての正しい知識を得る機会を設け、思いやりの心を育む支援を行っている。	c
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に正確な知識を持って応えている。	
	<input type="checkbox"/> 職員間で性教育に関する知識や、性についてのあり方などの学習会を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 年齢、発達段階に応じて、性についての正しい知識、関心が持てるよう支援している。	
	<input type="checkbox"/> 年齢に応じた性教育の計画があり、正しい性知識を得る機会を設けている。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性教育のあり方について学習会などを職員や子どもに対して実施している。	

【コメント】

子どもの性についての疑問や不安などに応えてはいるが、年齢や発達段階に応じた支援が十分ではないと思われるので、職員の正しい性教育に関する知識を深めるための学習会などを行い、職員や外部講師による子どもに対しての性教育ができるよう期待したい。

(5) DV被害からの回避・回復

①	A19 母親と子どもの緊急利用に適切に対応する体制を整備している。	a
	<input type="checkbox"/> 緊急時に備えて、夜間でも対応できる体制を構築している。	
	<input type="checkbox"/> 24時間の受け入れや広域利用など、広く母親と子どもの緊急利用を受け入れている。	
	<input type="checkbox"/> 役割分担と責任の所在を明確にし、配偶者暴力相談支援センター・警察署・福祉事務所等との連絡調整体制を整えている。	
	<input type="checkbox"/> 緊急時対応マニュアルを作成・整備している。	
	<input type="checkbox"/> 緊急利用のための生活用品等を予め用意している。	

【コメント】

「緊急一時保護」・「一時保護」・「緊急入所」の対応を図るために職員が毎日交替で宿直勤務に就き、入所ができるようにしている。緊急時受入れマニュアル・不信者対策マニュアルの整備や防犯カメラの設置、警備会社の巡回、また貸出用の生活用品を用意して受入れ体制を整備している。

②	A20 母親と子どもの安全確保のために、DV防止法に基づく保護命令や支援措置が必要な場合は、適切な情報提供と支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 保護命令制度や支援措置・DV相談証明の活用について、情報提供を行うとともに、必要に応じて法的手続きのための同行等の支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 弁護士や法テラスの紹介や調停・裁判などへの同行等、さらに必要に応じて代弁等の支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> DV加害者に居所が知れ、危険が及ぶ可能性がある場合には、母親と子どもの意向を確認した上で、速やかに関係機関と連携し、保護命令の手続きや他の施設への転居等の支援を行っている。	

【コメント】

DV被害からの安全確保のため母子支援員、施設長が関係機関と随時情報交換を行い支援措置の対策を取り、状況や必要に合わせて会議も行っている。DV支援に関する研修会には、全職員が参加し理解したうえで安心して暮らせるよう支援している。

③	A21 心理的ケア等を実施し、DVの影響からの回復を支援している。	b
	<input type="checkbox"/> DVIについての正しい情報と知識を提供し、DV被害者の理解を促し、自己肯定感を回復するための支援を行っている。	

<input type="checkbox"/> DVから脱出することができたことを評価し、安心して安定した生活と幸せな未来について、職員と一緒に考え支援することを伝えている。	
<input type="checkbox"/> 心理療法を活用し、医師やカウンセラーと情報交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	
<input type="checkbox"/> 必要に応じて、自助グループや外部の支援団体等の紹介を行っている。	

【コメント】

DV被害を受けてきた母親と子どもには、心理療法担当職員（臨床心理士）がサポート体制をとり必要に応じ、年齢に合わせた心理的ケアを実施し、安心して安定した生活が送れるよう支援に繋げている。

(6) 子どもの虐待状況への対応

①	A22 被虐待児に対しては虐待に関する専門性を持ってかかわり、虐待体験からの回復を支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 暴力によらないコミュニケーションを用いるおとなのモデルを職員が示している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもと個別に関わる機会を作り、職員に自分の思いや気持ちを話せる時間を作っている。	
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であることを伝えることや、感情表現を大切にすることで、自己肯定感や自尊心の形成に向けた支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 医療機関や児童相談所などの関係機関と必要な情報の交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 心理療法担当職員によるカウンセリング等の専門的ケアを実施している。	
	<input type="checkbox"/> 被虐待児に対する支援の専門性を高めるための職員研修等を行っている。	

【コメント】

心理面接スーパービジョンで、外部のスーパーバイザーの先生からのアドバイスにより、全職員が各ケースについて指導を受けて情報共有し関わり、子どもが安心して暮らせるように取り組んでいる。

②	A23 子どもの権利擁護を図るために、関係機関との連携を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 児童虐待の発生やその疑いがある場合は児童相談所に通報し、連携して対応している。	
	<input type="checkbox"/> 被虐待児童に対しては、必要に応じて、心理判定や児童精神科医との相談などの児童相談所機能を活用している。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、福祉事務所や保育所・学校・病院等と情報交換や連携を図り対応している。	

【コメント】

福祉事務所・児童相談所等の関係機関と定期的に会議を開催し意見交換等を行っているほか、課題があれば随時会議を開催し連携をとっている。保育園や学校などとは必要に応じて訪問や情報交換を行い、関係を密に連携を図っている。

(7) 家族関係への支援

①	A24 母親や子どもの家族関係の悩みや不安に対する相談・支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 母親の家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	
	<input type="checkbox"/> 家族の中に感情の行き違いや意見の相違がある場合、適切に介入し調整を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、他の親族との関係調整を行っている。	

【コメント】

母親が精神的に不安な時は、一時的に子どもを預かり、相談できる体制をとっている。状況に応じて母親の親族等への訪問や情報収集を行い関係改善に向けた支援を行っている。

(8) 特別な配慮が必要な母親、子どもへの支援

①	A25 障害や精神疾患、その他の配慮が必要な母親と子どもに対する支援を適切に行い、必要に応じて関係機関と連携している。	b
	<input type="checkbox"/> 社会資源の積極的な活用をするための支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 公的機関や就労先、保育所や学校等と連携した支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 精神疾患があり、心身状況に特別な配慮が必要な場合、同意を得て主治医との連携のもと、通院同行、服薬管理等の療養に関する支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 障害や精神疾患がある場合や外国人の母親や子どもへは、必要に応じて公的機関、就労先への各種手続きの支援を行ったり、保育所、学校等、他機関と連携し情報やコミュニケーション確保の支援を行っている。	

【コメント】

要保護児童対策連絡協議会が開催する子どもに関する機関と連携をとり、配慮が必要な家族には、施設長・担当母子支援員参加のもとケース検討会議等を行い、それぞれの機関で役割分担をし連携支援している。

(9) 就労支援

①	A26 母親の職業能力開発や就労支援を適切に行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親の心身の状況や能力・適性・経験・希望に配慮した支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 資格取得や能力開発のための情報提供や支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 公共職業安定所以外にも、ハードバンクや母子家庭等就業・自立支援センター等、様々な機関との連携や調整、必要に応じて、同行や職場開拓等の支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 母親が安心して就労できるように補完保育(残業や休日出勤時の保育等)、病後児保育、学童保育などを行っている。	

【コメント】

ハローワークやひとり親家庭支援センター(母子福祉連合会)から、情報提供を受けている。就労支援については失業保険等の対応や資格取得の際、補助金関係、子どもを預かるなどの様々な支援を実施している。

②	A27 就労継続が困難な母親への支援を行い、必要に応じて職場等との関係調整を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 職場環境、人間関係に関する相談や助言など、個々に対応した幅広い支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 母親が望む場合、就労継続のために職場との関係調整を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 障害がある場合や外国人の母親の場合、その心身等の状態や意向に配慮しながら、就労の継続に向けての支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 就労継続が困難な母親を積極的に受け入れている。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて福祉的就労の活用を図っている。	

【コメント】

精神的・身体的に就労継続困難な母親には職場との関係調整等を行っている。母親の精神的ストレス等が見られた場合は、職員と一緒に出かけ気分転換をはかり、落ち着ける居場所づくりをするなどの支援をしている。